

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.354

日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2012年8月22日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



福祉パスの有料化はやめよ！

障害者の外出支援制度見直し案について市長に申し入れ

横浜市は障害者の外出支援制度を見直し、改正案を12月議会に提出し、来年度から実施しようとしています。日本共産党横浜市議団は、7月から行っ

ている様々な障害者団体との懇談で見直し案についての意見が非常に多いことなどから、林文子横浜市長あてに10日、制度の見直しについての申し入れを行いました。

申し入れで、私・大貫は、全体的にみれば福祉パスに係る経費は僅かな予算であると述べ、岩崎ひろし副団長は、福祉の精神で障害を負っている人に交通費くらい心配しないでいいように、福祉パスは無料のままにしてほしいと訴えました。

(2面に続く)



申し入れ書を鈴木健康福祉副局長(右側)に手渡す私・大貫と日本共産党横浜市議団(左側)＝8月10日、横浜市役所

Twitter facebook ご覧ください

奨励金削減でボランティアがさらに不足？

党市議団には、福祉パスの有料化によって、作業所に通っている障害者からは1か月の工賃がなくなってしまう、生活が非常に苦しくなるなどの声がたくさん寄せられています。また、障害者団体では、ガイドボランティアに対する奨励金を減らすことによって、いまでさえ不足しているボランティアがさらに減ってしまうのではないかと心配が広がっています。

福祉パスを年間3200円にする根拠は何かとの私の質問に、神山篤障害福祉部長は月2回バスを利用するとして算出しており、利用回数がそれ以下の人には遠慮してもらいたいと答えました。

鈴木紀之健康福祉副局長は、みなさんの意見をふまえ、サービスを充実する中で財政負担も考慮し、最終的に決めたいと答えました。



主な申し入れ内容

- 福祉パス(市内のバスや地下鉄に無料で乗車できるもので、障害者に現在無料で配布)の年間3200円の有料化をやめること。
- ガイドヘルプ利用の月の基準時間を48時間から30時間に削減しないこと。
- ガイドボランティアの奨励金(現行500~1900円)を一律500円にしないこと。
- 自家用車を利用している障害者にガソリン券の導入を検討すること。
- 現在実施中の市民意見募集では、利用者負担や利用制限も仕方がないという考え方を認めさせるような質問内容であるなど、アンケートとして不適切であるため、直ちに中止し、設問、選択枝に誤解を与えないようなわかりやすい書き方に改め、再実施すること。

第3回定例議会のお知らせ

9月6日(木) 午前10時～ 本会議：議案上程、議案関連質問

9月11日(火) 午前10時～ 一般質問

9月19日(水) 午前10時～ 議案議決

9月27日(木)～10月16日(火) 午前10時～ 決算特別委員会

10月30日(火) 午後2時～ 決算議決、私・大貫が討論予定

傍聴にお越しく下さい。

また、市会HPで中継(生・録画)がご覧になれます。

シリーズ『あおば子育て事情』(116)

狛江の弁当給食 2

江口 寛

前回、狛江市の中学校給食が安いことに触れましたが、さてお味の方はいかがでしょうか？ また、安全性は？

試食した逗子市の議員さん（無所属の会所属）の感想は、「味のおいしさに驚きました。また、ホカホカではないものの、適度の温かさは残っており、食べるにあたっては全く気になりません。特に、栄養バランスにも配慮された献立になっており、量も私でもある程度の満足できるものでした」とのこと。

また、選択制給食の喫食率は、よくて50%だそうです。狛江では78.4%(2008年度)、72.3%(2009年度)、67.4%(2010年度)、66.4%(2011年度)と比較的高く、味の面でも「ますます」といったと

9月3日、ランチボックスA



味噌カツ、キャベツソテー、五目煮、果物缶、ご飯、牛（総カロリー 958 kcal）
（狛江市中学校給食HPより）

ころでしょう。

安全面では異物混入が課題となっています。スタート当初の3ヶ月で毛髪9件、木片2件、虫2件、ビニール片、プラスチック片、発泡スチロール片、枯れ葉、紙片各1件と、大変心配されました。その後、改善されてはいますが、今年4～6月でも、副菜の「ごま和え」に4cm程のビニール片、主菜の「鮭の唐揚げ」に紙片、副菜の「じゃっこと里芋」にビニール片と3件報告されています。

今後、民間委託の制度はそのままに、衛生管理など市が主体となる「給食センター」を整備する方針が打ち出されました。「これらがどう改善していくか？」目が離せないところです。



のいおの夏休み

このところ夏休みは毎年、猫たちとお留守番。生活相談や来年度予算編成の申し入れ文書を書いたり、これまでほおっておいた庭の掃除や片付け、朝昼晩の食事の支度、洗濯。結局は普段より長く家にいるだけのこと。写真は、サラダうどん。

おのの通信

福島第二原発 視察記(1)

福島第二原発の視察は、事務所本部で増田尚宏所長の説明でスタートしました。

所長の説明では、次のとおりです。3・11東北地方太平洋沖地震時の津波の高さは9mあり、原子炉建屋が海拔12mの位置にあるため、浸水は一部にとどまった。海岸にある原子炉冷却用海水ポンプ4基のうち、3基とそれらの電源が海水に水没した。ただ、外部



津波の到達：15：30頃。福島第二原発免震重要棟高台から、1号機方向を撮影＝東電提供資料

からの高圧電源の1回線が生きていたので原子炉の温度、圧力や水位などの把握ができた。さらに、地震が土・日であれば働いている人は40人足らずであったけど、金曜日だったので約2000人がいた。総延長9kmのケーブルを人力でつなぎ合わせ、仮設電源を確保できた。所長は「福島第一原発の炉心溶解と同様の事態になるまで紙一重のところだった」と語りました。ゾーっとする話です。(続く)



東電から説明を受ける横浜市議会常任委員会のメンバー＝7月31日、事務所本部。



ミジソコの独り言 8月15日は旧暦のお盆。終戦記念日と重なるのは偶然ではないのだろう。お盆といえば京都の大文字焼が有名だが、箱根・強羅でも大文字焼が行われる(写真)。お盆が終わればもうすぐ夏休みも終わり。また早起きしてお弁当づくりか、電車も混むと思うといささか憂鬱！(M)